

連絡事項

1. 競技規則について

- (1) ルールは、現行の日本卓球ルールを適用する。但し、タイムアウトは、全種目準決勝より適用する。
- (2) 接着剤の使用は、所定のラバー貼替所（1Fの窓側）でのみ許可する。
- (3) 学校対抗戦ならびに個人戦ダブルスにおいては、ユニフォームを統一すること。
- (4) 個人戦のアドバイザーについては、試合の途中からでも入ることが出来るが、一度ベンチを離れたら再び戻ることは出来ない。1名のみで交代することは出来ない。
- (5) 足拭き雑巾の使用については、タオル使用の6ポイント毎とし、競技継続の妨げとならないようにする。審判(副審)の横に置くこと。

2. 競技の進行について

- (1) 17日(土)は男女ダブルス3回戦及び学校対抗を行う。ダブルスの1回戦はコールをしない。プログラムに記載されているコートで全ての試合が入る。学校対抗の予選リーグは、各グループに所属する学校のダブルスの試合が終了次第速やかに開始する。
- (2) ダブルスの1回戦の8試合及び学校対抗の2つのグループは2Fサブ体育館を使用する。

試合順序(学校対抗戦予選リーグ)

第1試合 1-4 ・ 2-3

第2試合 1-3 ・ 2-4

第3試合 1-2 ・ 3-4

- (3) 試合は全て3点先取とする。
- (4) 監督、アドバイザーについて
 - ①学校対抗の監督、個人戦のアドバイザーは役員章を必ず付けること。
 - ②今大会参加の選手がアドバイザーに入る場合はゼッケンを着用すること。
- (5) 学校対抗戦のベンチは、番号の若いチームがステージ側とする。サブ体育館は入口側とする。
- (6) 学校対抗戦は、各グループの1位チームが決勝トーナメントに進出する。
- (7) オーダー用紙の提出について
 - ①同一オーダーを左右に記入し、切り離さずに本部席のオーダー提出所に提出すること。裏面に男女、リーグ名、学校名を記入すること。
 - ②予選リーグ第1試合のオーダーは、予め記入しておき、それぞれのグループに所属する学校のダブルスの試合が全て終了後、放送によりすぐに提出すること。
 - ③第2・第3試合のオーダーは、試合終了後、ただちに提出すること。
- (8) 試合球はコートに用意されているボールから選択する。(ニッタク・TSP・タマス)
- (9) 18日(日)の朝は、競技に先立って学校対抗の部の表彰を行う。その後、男女ダブルスの準決勝と男女シングルの1回戦を並行して実施する。

3. 審判について

(1) 学校対抗の部

①学校対抗戦の予選リーグは帯同審判員が行う。帯同審判員がない場合は、開催県の審判員で行う。(審判員は17日8:20に打ち合わせを行う。)

②決勝トーナメントは、開催県の審判員が行う。

(2) 個人戦の部

①各コートの第1試合は、開催県の審判員が行い、その後の試合は敗者審判とする。

②敗者は自分の試合結果を受け取って本部席へ提出する。そして次の試合の対戦票を受け取って審判にあたる。試合後、対戦票を敗者に渡す。対戦票に審判名を記入すること。

③全種目とも準決勝からは開催県の審判員が行う。

4. その他

(1) 練習について

6月16日(金) 13:00~16:40

6月17日(土) 8:00~ 8:50

6月18日(日) 8:00~ 8:50

(2) 開会式は、各県プラカードに従い、各校1列縦隊(各県8列・計32列)で整列すること。個人戦のみの出場選手は、その後方に整列する。連続優勝表彰を行う。

(3) 貴重品やシューズの管理(下駄箱にはシューズを置かないようにしてください)。ゴミの持ち帰り、上下靴の区別は、各校で責任をもって行うこと。スーパーの駐車場には絶対に駐車しないこと。

(4) 弁当は10:30~11:30に弁当引換所に届く。食べ終わった弁当箱は、業者が引き取るので、14:30までに返却すること。

(5) 体育館の開場は、7:45です。

[練習コート割当]

徳島県 1~ 6コート

高知県 7~ 12コート

愛媛県 13~ 18コート

香川県 19~ 24コート

2階サブ体育館25~32はフリー

※サブ体育館は、17日(土)は学校対抗予選リーグ終了後から決勝終了まで

18日(日)は9:30から12:00まではフリーで練習会場として開放する。

(6) 体調管理に気をつけ、熱中症予防のため、こまめに水分補給をしてください。

(7) 県の代表としての自覚を持ち、宿舎での行動にも気をつけてください。